

SCOUTING

2024
No.760
3

特集

広がる仲間の輪

進級課程の改定

第13回日本アグーナリー

日韓スカウト交歓計画

「スカウティング誌」がHPや「マイページ」情報に

CONTENTS

- 02 ローカルホットライン
広がる仲間の輪
- 03 ボーイスカウトとあそぼう！
ワクワク自然体験あそび
- 04 ニッポン全国元気団紹介
兵庫連盟 神戸第6団
- 05 2024（令和6）年度 全国大会
信仰奨励
- 06 トレーニングと AIS 方針に則った
指導者のアプローチ
- 08 ボーイスカウト・ベンチャースカウト部門の
進級課程の改定
- 12 第13回日本アグーナリ-
- 15 ひろげようソングの響き！
～プログラムとソング～
- 16 〔報告〕第4回世界スカウト教育コンGRES
- 17 〔報告〕2023年度〔2024年1月実施〕
日韓スカウト交歓計画
- 18 2023年度 スカウトの日
～プラごみバスターズ大作戦～
- 19 日本ローバームート2024 参加者募集中！
- 20 野外活動のための安心・安全講座
賠償責任保険と安全
- 21 「スカウティング誌」が
HP や「マイページ」情報に
- 22 維持会員
- 23 ボーイスカウト×ユニクロ
難民支援衣料回収プロジェクト
助成募集中
ともに進もう（ひとり親家庭等応援）
助成プログラム
- 24 令和6年能登半島地震への支援について

ローカルホットライン

Local
Hot
Line

団・地区 都道府県連盟だより

- … 団
- ☒ … 地区
- … 都道府県連盟
- ◇ … その他



群馬 ☒ さあ！冒険にでかけよう！

高崎地区協議会 会員拡充委員 柳川 常子

群馬県連盟高崎地区では、毎年ビーバースカウト・カブスカウト地区合同集会を行っています。

2023年は【さあ！冒険にでかけよう！昔住んでいた伝説のカップを見つけよう！】をテーマに開催しました。総勢200人が集い、ボーイ隊やベンチャー隊が運営するキムス、暗夜行路、弓矢、段ボール積み、ピンボール、担架競争とお馴染みのラインナップながらテーマに合わせ趣向を凝らした6つのポイントを、たて割り組で回ります。

この取り組みにより、日ごろ

人数の少ない団のスカウトにも大勢での集会を体験してもらうことができ、ルール厳守で競い合うこと、チームワークを学ぶ良い機会になっています。

また各団の募集集会を兼ねることで活動体験を支援するとともに、開催場所の広場での子ども達の楽しそうな姿と声は、一般の方へのボーイスカウト活動のPRの一環になっています。

高崎地区は、指導者、保護者、スカウトなど地区みんなで力を合わせて、笑顔溢れるスカウト活動を行っています！



広がる 仲間の輪

新しい学年になる春は、ボーイスカウトの仲間を集めるのにピッタリの時期です！

そこで本誌ではご投稿いただいたローカルホットラインの中から、ボーイスカウトを地域の方に知っていただくための活動や地域との交流、組織拡充に重点を置いた活動をピックアップして紹介します。

兵庫 ☒ 楽しい森のクリスマス

西宮第13団 団委員長 田中正憲

六甲山の麓に「健児の森」という森があります。土砂災害防止と自然環境の保全を目的とした六甲山系グリーンベルト整備事業において夙川ボーイスカウト（西宮第3団、第13団）に委託された区域の森です。

その健児の森において、12月の日曜日に「森のクリスマス」と題した団集会を実施しました。一般の子どもたちにも呼び掛け4人の新しい仲間を迎えて焼き芋を食べたり、松ぼっくりを使ったクリスマス飾りを作ったり楽し

い時間を過ごしました。年長スカウトが作った森の中での滑車やロープ渡りは大人気で、キャッキヤと陽気な声が健児の森に響きました。一方、お手伝いいただいた保護者の皆さんは楽しくよもやま話に花を咲かせていました。

西宮第13団では住宅地に隣接するこの森を整備し、各隊で使用しています。また、定期的はこの森の中で「遊び」を地域の子どもたちに提供しています。



ボーイスカウトとあそぼう! ワクワク 自然体験 あそび

2024年度 新機能の紹介

来年度で5年目となる「ボーイスカウトとあそぼう! ワクワク自然体験あそび」は、来年度も年間を通じて開催できます。年度末のメンテナンス*に合わせてエントリーシステムの改善・機能追加を行います。従来の参加申込方法(標準)に加えて、以下の2つの申込方法が選択できるようになります。

- 1 参加申し込み時の入力項目に、**保護者名と学校名を追加**できるようになります
- 2 参加申し込みを**家族単位**で行えるようになります

開催者は、この参加申込方法(参加申込タイプ)を事業登録フォームで指定していただきます。

参加申込タイプ指定

- 標準
- 保護者名・学校名の入力
- 家族単位で申し込み



参加希望者は、「標準」の1人毎の入力(氏名、ふりがな、生年月日、学年、住所、電話番号、メールアドレス等)に加えて、以下の入力が可能となります。

- 1 「保護者名・学校名の入力」は、参加申込フォームに「**保護者名**」の入力欄と、「**学校名・保育園名・幼稚園名**」の入力欄が表示されるようになります。
- 2 「家族単位で申し込み」は、1回の申し込みで**参加を希望する家族全員の入力**ができます。

* 年度更新のメンテナンスのため、年度末に2日間、エントリーシステムを停止します。

事例紹介

三重連盟 四日市第15団

副団委員長 山口 成治

四日市第15団は、四日市市30.7万人と三重郡菟野町4.1万人の約35万人の地域で活動しています。

十数年前よりスカウト数の減少が続き2020年度のスカウトの登録は数人となってしまいました。

そこで四日市市教育委員会の協力を得て小学1・2年生を対象にチラシを配布し、2021年3月より体験会を実施するようになり、現在は年2回(10月と3月)実施しています。

2021年3月から2022年10月までの体験会は独自で実施しており、体験会の内容としてはチェックポイント(観察・工作・協力)をまわり、最後にお宝を発見・GETし、お宝(お菓子)を持って帰る体験をしています。

2023年3月からは、「ワクワク自然体験あそび」に登録し、現在まで2回実施しています。体験会には、毎回20人前後参加いただいています。

「ワクワク自然体験あそび」として、初めて体験会の募集をした2023年3月からも、体験内容は今までどおりのチェックポイント方式です。日本連盟HPには「ボーイスカウトと遊ぼう! ワクワク自然体験あそび」とあることから、今まで行ってきた体験だけでなくスカウト(カブスカウトとビーバースカウト)と一緒に遊べる方法はないかと考えました。参加者が集まってきた時にどうしても開始時間まで間が空くためその時間を使ってゲームをしたところ、スカウトと参加者が一緒に楽しく遊んでいる姿を目にして「ボーイスカウトと遊ぼう」というテーマがピッタリ合うと思いました。2023年10月の「ワクワク自然体験あそび」ではスカウトと競争したり、スカウトが起点になったりして、体験会プログラムを進行するようになりました。初めての試みだったのでドタバタした所もありましたが、参加者はすごく楽しそうにプログラムに取り組んでいたようでした。これからも、「スカウトと遊ぼう」をメインのプログラムに考えて、参加者が楽しく、また一緒にスカウトと活動したくなる様な体験会にして仲間を増やしたいと思います。

6回の体験会で約20人のスカウトが増えました。ビーバースカウトからカブスカウトへの上進者もあり、今後も、体験会を継続することで仲間が増えることを願っています。



ニッポン全国 元気団 紹介

兵庫連盟 神戸第6団

かつて平清盛が都をおいた歴史の深い兵庫県神戸市兵庫区。この地で昨年発団75年を迎え、元気いっぱい活動しているのが神戸第6団だ。コロナ禍前に比べ、スカウト数も増加傾向にあるという。団集会にお伺いして皆さんの声を聴いてみた。



団のHPはこちら

長い歴史に新たなページを重ねていこう!!

団のみんなでお餅つき!

神戸市兵庫区、静かな住宅地の一角より、ペタンペタンというお餅をつく音と、たくさんの笑い声が聞こえてきた。この日は神戸市立中道地域福祉センターにて神戸第6団の団集会だ。ビーバースカウトやカブスカウトは元気に走り回り、おいしそうにお餅を頬張っている。リーダーや年長スカウトは杵を振るい、エプロン姿の多くの保護者がお餅を丸めたりと大忙しだが、皆さん本当に楽しそうにされている。活気あふれる光景がそこにはあった。

その中心にいるのは清川団委員長。コロナ禍前は30人程だったスカウト数も徐々に増えて今では



50人近くになったという。この日も2人の体験参加者を迎えていた。いろいろ課題もあるのですがと言いつつも明るく団をまとめておられる。前団委員長の急逝により、いきなり大任を引き受けられたが、

定型訓練にも積極的に参加されるなどとにかく前向きな人である。高橋育成会会長とともに地域とのつながりの大切さを話された。4月には近隣の公園にてバザーを開催、今は引退された地元うどん店の店主がこのバザーでは特別に出店、昔懐かしい味を求める地域の人々に大好評とのこと。そんな地域に根差すことが、団の元気の根源なのかもしれない。

団のみんなで囲んだ営火!

そんな神戸第6団の活動について聞いてみた。子どもが大好きな高見ビーバー隊長は季節を感じる活動を通じ、思いやりの心を育みたいと意欲を語った。カブ隊は植田隊長、岡田副長のもと現在3組で活動中、近くの須磨アルプスへのハイキングなど、山が近い神戸の恵まれた環境を活かした活動をしている。ボーイ隊の蒲澤副長は班の自治に基づき、スカウトのニーズを上手く引き出すことがスカウトが長く活動を継続していく基礎ではないかと考えている。指導者の皆さんはとても仲が良く、力を合わせて団を盛り上げてい

うという雰囲気にあふれていた。

昨年は県北部のハチ高原にてボーイ隊は夏季野営を実施、その最後にビーバーやカブも同じ場所



に集いみんなで営火を囲んだという。きっと歌声や笑い声がこだまする楽しい営火であったことだろう。

長い歴史に新しいページを!

そんな団を保護者の皆さんが積極的に支えている。その中でも長年団委員として奉仕されている義さんに話を聞くと、小さかったスカウトが成長していく様子を見られることが楽しいと目を細めて話された。またカブ隊の衣川デンリーダーは、自身のスキルを活かして団のホームページの更新やSNS発信を担当されている。身内だけで盛り上がる内容ではなく、ボーイスカウトのことを全く知らない人が見ることを想定しているという。それは効果的であるようで、実際、最近入団された保護者に聞いてみたところ、日本連盟の団情報ページから団のホームページにたどり着き、その



内容を見て神戸第6団に問い合わせをし、集會に体験参加したそう

だ。スカウト数が増加傾向にある秘訣はこのあたりにもありそうだ。神戸第6団とはどんな団なのか清川団委員長に伺ったところ、「地域に根差した仲の良い団かな」との答えが。さらにスカウティングの質をもっと高めたいと力強く語られた。

29年前の阪神淡路大震災の際、この地域は大きな被害があった地域でもある。震災やコロナ禍だけでなく75年の団の歴史の中では様々な困難があった。それらを乗り越えてきた団の底力は計り知れない。団集会を少し見せていただいただけではあるが、その光景からこれからも長い歴史に新たなページがどんどん重ねられていくのだろうと頼もしく感じた。

信仰奨励

指導者の背中

信仰奨励小委員会 品田 千絵保

私の子どもはベンチャースカウトの時に
 仏教章を取得しました。今から25年ほど
 前の事です。私の所属団は本部が真宗大
 谷派のお寺の為、大谷派の仏教章講習会
 を受けました。仏教章を胸につけた子ど
 もが言ったことは「お母さんも仏教章講習
 会、受けた方がいいよ。指導者なのだから。
 」という言葉でした。「すごく色々考
 えることがあった。この事を指導者が経験
 していないなんておかしいよ。」と。

そこで、お願いをして高校生に混ざって
 講習会に参加をしました。引き込まれるよ
 うな様々な話、参加者とスタッフでの座談。
 本当に参加して良かったと思いました。

その後スタッフとしてお手伝いするよう
 になりました。すると時々「指導者なの
 ですけれど、講習会に参加できますか」と
 いう問い合わせを受けるようになりました。
 何人もの指導者が講習会を受けてくださ
 いました。

スカウトに何かを教えるために指導者
 は工夫をします。ロープやコンパス、自分
 でやってみて、「こんな風に教えたら楽し
 いかな？」など自分の経験をもとに考え
 スカウトに伝えていきます。宗教も同じこと
 だと思います。

実際に宗教を教えるのは教導職の方
 であっても、そこに向かわせる、参加させる
 のは指導者の役目。自分が体験してい
 れば様々なことをそれぞれのスカウトにあ
 った方法で、進めることができます。スカ
 ウトは指導者の背中を見て育っていきま
 す。

信仰とは自分が生きていく上での心の
 支えとなります。どんなことが来ても引き
 受けていける力を得るのが信心です。スカ
 ウト活動に明確な信仰を持つことが掲げ
 られているのはそのためです。指導者自
 身が学び、感じたこと、得たことがあれば、
 スカウトにもこの気持ちを体験させたい
 と必ず思うはず。どの宗教、宗派でも
 指導者の参加を歓迎しています。まず一
 歩を踏み出すのは指導者です。



2024 (令和6) 年度

全国大会

5月25日(土)
 ~26日(日)
 秋田県・秋田市

社会への本運動の理解を広めるとともに、加盟員の研鑽の場、本連盟と参加者の双方からの情報交換の場として開催している全国大会。今年は秋田での開催となり、ボーイスカウト運動の魅力を発信することによりいっそう力を入れて、地域の子どもたちに体験活動を提供する場となることを目指しています。

日程 2024 (令和6) 年
 5月25日(土) ~ 26日(日)

会場 秋田県秋田市
 1. あきた芸術劇場ミルハス
 [開会式・表彰式]
 2. ANA クラウンプラザホテル
 [交歓会、テーマ集会]
 3. 秋田拠点センター
 ALVE (アルヴェ)
 [エキスポ・体験プログラム]

参加者 どなたでもご参加いただけます
 ■ ボーイスカウト加盟員
 ■ スカウトの保護者、育成会員、
 スカウトクラブ会員等
 ■ 一般市民、県内の青少年、
 その他

主催 公益財団法人
 ボーイスカウト日本連盟

開催連盟 日本ボーイスカウト秋田県連盟

開催協力 ボーイスカウト北海道・東北ブ
 ロック

主な日程

5月25日(土)

午後 開会式、表彰式、県連盟代表者会議、
 全国県コミッショナー会議、RCJ総会

夕 交歓会

5月26日(日)

午前 全国スカウト教育会議 [テーマ集会]

5月25日(土) ~ 26日(日)

エキスポ・体験プログラム

25日~26日を通して、秋田駅直
 結の秋田拠点センター ALVE では、
 さまざまな体験ができるプログラム
 エリアを展開します。ボーイスカウト
 加盟員の皆様からのプログラム出展
 に加え、地域の企業や団体などにも
 広く出展を呼びかけていきます。

出展を希望する皆様は大会のホ
 ームページをご覧ください。

全国大会開催前後に予定している諸会議

関係する皆様は、今後それぞれに出される開催通知により日程等ご確認ください。

24日(金) 日本連盟評議員会

25日(土) 日本連盟理事会、宗教関係代表者会議、宗教関係者の会、スカウトロータリ
 アン総会、スカウトライオンズ総会

26日(日) 日本連盟医療チーム

トレーニングと AIS 方針に則った指導者のアプローチ

指導者の皆さんが成長し、スカウトにとって教育効果の高いプログラムを展開するために、トレーニングへの参加は大切です。そして「トレーニングに参加していただいたら終わり」ではありません。団やコミッショナーが AIS 方針に則った「任務中の支援」を行ってこそ、指導者がトレーニングに参加した効果が大いに発揮できます。



トレーニングに参加・履修された方々の声を集めてみました

団委員実修所第 33 期参加

団委員長 [50代]

なかなか難しかったが、団のために少しづつやっていこうと思う。いろいろな知識や技能を持っている方に教えてもらうことがあり、もっと早くに参加すればよかったと思った。

団委員研修所兵庫第 31 期参加

カブ副長 [40代]

団でお手伝いで何かできることがないかなと思い、それなら団のことがわからないとダメと思って参加した。隊指導者だが、団のことがよくわかり、参加してよかった。

ウッドクラフトコース第 3 期参加

ボーイ隊長 [50代]

ここで展開されたプログラムをそっくり自隊で展開してみたい。班で活動することの大切さや楽しさを理解することができた。

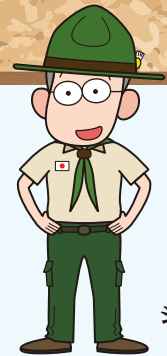


ヒロ・コミッショナー

次のラウンドテーブルでトレーニングに参加した感想を皆の前で述べてもらう機会を作ろう！

積極的にコミュニケーションをとって「トライしたいこと」をヒアリングして、アドバイスできたらいいね！

隊で展開する上での団からの支援に対するニーズを確認しよう！



シローさん
(団委員長)

団会議でコースの様子を聞いてみよう！

やはり、AIS 方針に則って工夫すると団や隊が活性化するんだなあ



トミーさん

活動において地域・保護者との連携に工夫をされた事例を集めてみました

ウッドバッジ実修所 BS 課程第 204 期第三教程取組中

ボーイ隊長 [40代]

第二教程で学んだ重要性に基づき、保護者とのコミュニケーション向上のため LINE グループを開設した。活動ごとに写真や動画を慎重に共有し、保護者のリアクションには迅速に返信している。保護者からは「スカウトの表情が見られる」と好評を得ている。他隊の保護者からもボーイ隊に対して羨望の声を多く寄せられ、上進時の退団スカウトがゼロ、上進率が大幅に改善している。

ウッドバッジ実修所 BVS 課程第 43 期

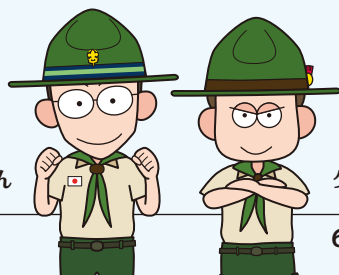
ビーバー隊長 [20代]

保護者には、すべてのプログラムにおいて当日できることをお願いした。小さい子どもがいる家庭のため、具体的にかつピンポイントで手伝っていただけるようにした。結果的にボーイスカウト活動に対する理解を深めていただき、自主的にわが子以外のスカウトに対してもお手伝いをしていただけるようになり、積極的に活動にかかわってもらえるようになった。

トレーニングに参加された方は、レベルアップして、色んな手法を考えられるようになるのね！

クロ先輩!!
ボクももっと保護者の方や地域の方と積極的に話す機会を作って、良い関係作りをしていきますね!!

ソウちゃん



みんな、色々工夫してやってるんだよね~

クロちゃん

スエさん



令和6年度指導者訓練コース開設予定

1. 隊指導者上級訓練(ウッドバッジ実修所)

| 課程 | 期数 | 期間 | 場所 | 申込締切日 |
|-----|-------|---------------------|-------------------------|----------|
| BVS | 第48期 | 5月3日(金)～5月6日(月) | 新城・吉川野営場(愛知県新城市) | 3月29日(金) |
| CS | 第179期 | 4月27日(土)～4月30日(火) | 御胎内清宏園(静岡県御殿場市) | 3月22日(金) |
| | 第180期 | 10月12日(土)～10月15日(火) | 滋賀連盟 浅柄野野営場(滋賀県栗東市) | 9月6日(金) |
| BS | 第207期 | 5月2日(木)～5月6日(月) | 那須野野営場(栃木県那須塩原市) | 3月29日(金) |
| | 第208期 | 5月2日(木)～5月6日(月) | キャンプおおさか(大阪府枚方市) | 3月29日(金) |
| VS | 第33期 | 5月2日(木)～5月6日(月) | ボーイスカウト浜松太田山野営場(静岡県浜松市) | 3月29日(金) |

2. 団指導者上級訓練(団委員実修所)

| 期数 | 期間 | 場所 | 申込締切日 |
|------|---------------------|-------------------|----------|
| 第35期 | 10月12日(土)～10月14日(月) | 岐阜市少年自然の家(岐阜県岐阜市) | 9月6日(金) |
| 第36期 | 11月2日(土)～11月4日(月) | 群馬県青少年会館(群馬県前橋市) | 9月27日(金) |

3. ウッドクラフトコース

| 期数 | 期間 | 場所 | 推薦締切日 |
|-----|--------------------|----------------------|----------|
| 第4期 | 9月21日(土)～9月26日(木) | ろくろしの森キャンプ場(兵庫県宍粟市) | 8月16日(金) |
| 第5期 | 10月30日(水)～11月4日(月) | 福岡県連盟 脇山野野営場(福岡県福岡市) | 9月25日(水) |

4. 副リーダーートレーナーコース

| 期数 | 期間 | 場所 |
|------|---------------------|------------------|
| 第68期 | 10月10日(木)～10月14日(月) | 那須野野営場(栃木県那須塩原市) |

5. リーダーートレーナーコース

| 期数 | 期間 | 場所 |
|------|---------------------|------------------|
| 第43期 | 10月10日(木)～10月14日(月) | 那須野野営場(栃木県那須塩原市) |

※ 令和6年度の県連盟開設コース(ウッドバッジ研修所、団委員研修所、コミッショナーベーシックトレーニング、コミッショナー任務別研修)の開設予定は、日本連盟 Web ページをご覧ください。



https://www.scout.or.jp/member/training_schedule2024

スカウトの成長は皆さんの研修から！

世界スカウト機構(WOSM)が提唱する「成人に関する世界方針(AIS: Adults in Scouting World Policy)」に準拠して、日本連盟では2023年に、日本国内の状況に合わせて分かりやすい表現に置き換えた、「日本連盟 AIS 方針」を策定しました。

スカウト運動は、保護者や指導者だけでなく、場所や物資に技術の提供など、多くの成人に支えられています。多くの方の関わりでスカウト運動を支えていく AIS という考えのもと、スカウト運動に関わる全ての成人の皆さんを対象として、さまざまな研修の仕組みが用意されています。

ボーイスカウト講習会

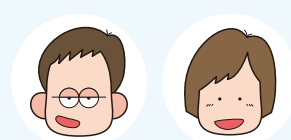
「お子さんがスカウト活動を始めた」「これから隊や団のリーダーになる」「スカウト運動に興味をもっている」といった方を広く対象として、各地域で開催しています。1日の研修の中で、野外でのハイキングやゲームなどを実際に体験して学んでいただく内容になっています。より受講しやすい形への内容の見直しも行っています。一緒にボーイスカウト運動の入り口に立ってみませんか。



に向けた、上級訓練を開設しています。楽しいスカウト活動のため、指導者を支援する充実した研修を活用してください。

ウッドクラフトコース

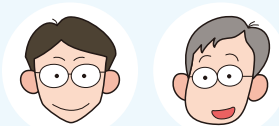
ボーイスカウト教育を効果的に進める方法であるキャンプ。ウッドクラフトコースは、そのキャンプの醍醐味とスカウト教育の本質を体得していただけます。隊指導者上級訓練修了者を対象に、5泊6日のキャンプ生活の中で、多くの野外活動とプログラム展開を体験していただき、その楽しさをぜひスカウトに伝えてください。



基礎訓練(ウッドバッジ研修所、団委員研修所)

上級訓練(ウッドバッジ実修所、団委員実修所)

隊や団の指導者の方には、活動を進めるための知識や技能、心構えを修得するための研修があります。基礎訓練は、隊や団の指導者に必須の研修であり、体験を通じて楽しい活動やスカウトの成長を促す活動を学びます。基礎訓練を修了して一定の経験を積んだ指導者



コミッショナー研修(ベーシックトレーニング、任務別研修)

コミッショナー研修は、社会の変化や地域の実情に合わせた支援を行うため、すべての指導者に支援を行うための任務に応じた内容へと見直しを行いました。過去に研修を修了した方も、新しい時代に合わせたコミッショナーの研修に参加してみてください。



ボーイスカウト・ベンチャースカウト部門の 進級課程の改定

2024（令和6）年、新たな進級課程が施行となります。

昨年には未曾有の感染症拡大がひとつの区切りを見せ、全国でスカウト活動が大きく前進する年となりました。日本連盟の最重点施策「社会に貢献できるスカウトを育てるための仕組みを確立する」の実現のもと、ボーイスカウト部門とベンチャースカウト部門の新たな進級課程へと改定します。

改定に至った経緯

現行の進級課程では、部門の活動の目標（教育規程 7-23、27）に則ったプログラムの運用がなされておらず、“ボーイスカウト・ベンチャースカウト部門の進級課程のみが一体化”となっています。現状の教育的な効果や問題点などについて、2022年度の全国県コミッショナー会議にて改定に向けた提案をしてきました。

そこで「必要となるスカウトスキルは維持しつつ、ボーイスカウト部門とベンチャースカウト部門の進級課程について、各部門での進級の取り組みとなるよう見直しを行う。」との結論に達し、県コミッショナーの意見をもとにこの2年間検討を行ってきました。



進級課程の改定によせて

この度、ボーイスカウト部門、ベンチャースカウト部門の進級課程について、初級から富士まで一連続の課程であったものを部門ごとに切り離し、ボーイスカウト部門は初級から菊まで、ベンチャースカウト部門はベンチャー（新設）から富士までとする改定を行うこととなりました。

これは、全団調査の結果分析、全国の皆様から寄せられたご意見などを考慮し、全国県コミッショナー会議等での議論、ブロック代表県コミッショナーとプログラム委員会の担当者等による協議・作業を経て教育推進本部会合、理事会の承認に至ったものです。

主な改定理由は、部門の活動目標が異なるが、全団調査の結果2級、初級でのベンチャースカウト部門への上進者が75%に達するため、ベンチャーに上進したスカウトが

引き続きボーイスカウト年代のプログラムを実施しているケースが多く、心身の発達と取り組むプログラムにギャップが生じるケースが多々見受けられること等が挙げられました。

現在、教育推進本部ではスカウティングの最終段階ともいえる、ベンチャースカウト部門、ローバースカウト部門の充実、発展に取り組んでおり、この改定によりボーイスカウト部門、ベンチャースカウト部門を一層充実させ富士スカウトの輩出に弾みをつけて行くことを期待しています。

各団、隊の指導者の皆様におかれましてはますますご支援を賜りますようお願い申し上げます。

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟
総コミッショナー 村田 禎章

改定のポイント

1 部門ごとの進級課程・課目に向けた切り離しを優先

進級課程・課目は青少年プログラムへのスカウト自身の取り組みを促進し、個人の成長をより効果的に促すためのものであり、青少年プログラムの意図と内容を十分に反映したものであることが必要です。今回の改定においては現行のボーイスカウト・ベンチャースカウト部門間でシームレス化されている内容を切り離して、それぞれ部門での進級課程の取り組みになるようにすることを優先しました。

※なお青少年プログラムの抜本的な見直しは、今回の改定とは別にタスクチームを編成して実施します。

2 ボーイスカウト部門の進級課程・課目の見直し方針と内容

県コミッショナー会議等での意見を参考にしつつ、各進級に求められるスカウトスキル等を厳選し、主に2級及び1級の進級課目のシンプル化を図りました。

- ボーイスカウト部門の進級課程は初級～菊まで
- 防災と環境保全等に関する内容を盛り込む
- 多様なスカウトの現状に合わせて、1級・菊の取得に必須とする技能章の見直し

3 ベンチャースカウト部門の進級課程の見直し方針

ベンチャースカウトからこの運動に参加する青少年がベンチャースカウトの活動への取り組みを効果的に促進できるような仕組みを導入します。合わせてボーイスカウトから上進するスカウトにとってもボーイスカウトでの活動とその結果（取得した技能章など）が、ベンチャースカウトでの活動や進級に活かせる仕組みとします。

- ベンチャースカウトの入隊要件の見直しとアドベンチャーバッジの着用を追加
- ベンチャースカウトの進級課程はベンチャー章～隼～富士
- ベンチャースカウト部門の活動目標達成に向けて、プロジェクト法などのプログラム展開を促進・強化することを意図した見直し

Q&A

Q これまでのボーイスカウトからベンチャースカウトまでの一本化した進級課程ではなくなるのですか？

A ボーイスカウト部門とベンチャースカウト部門の一本化した進級課程はなくなります。

ボーイスカウト部門は菊まで、ベンチャースカウト部門はアドベンチャーバッジから、ベンチャー章、隼、富士の課目に取り組むこととなります。ボーイスカウト部門、ベンチャースカウト部門それぞれの年代のプログラムに挑戦できるように再構築しました。

Q 移行期間はあるのですか？

A 2024年4月から2025年3月末を移行期間と位置付けます。

ベンチャースカウトは2025年3月末の完全移行時にはボーイ隊の進級記事（1級スカウト章・菊スカウト章など）を着用していることがないように計画してください。

Q アドベンチャーバッジの位置づけとは？

A ボーイスカウトでの進級状況に関わらず、ベンチャースカウトへの入隊時・上進時に改めてベンチャースカウト活動を理解することを目的としています。

Q カブ隊での「月の輪」はどうなりますか？

A 2024年3月までに「月の輪」にチャレンジする場合は、現行の初級課目での履修で変更はありません。2024年4月以降に「月の輪」を履修するスカウトは新しい進級課目に取り組むこととなります。

Q 差し替え資料等はどうなりますか？

A ハンドブック等の進級課目に関わるページについては、差し替え資料を準備します。4月から日本連盟 Web ページでダウンロードして使用できるように準備を進めています。ハンドブック等は、次回増刷時に改訂を予定しています。

ボーイスカウトの進級課程・課目

新しい各進級章の細目は次のとおりです。
 (★)…隊長承認による履修細目 無印…班長承認による履修項目

初級スカウト章



入隊したボーイスカウトは、スカウトバッジを着用し、次の項目を履修した後、「ちかい」をなで、所定の手続を経て、初級スカウトとなる。

- 1 基本**
 - (1) 「ちかい」と「おきて」が言える。そのうえで、隊長と話し合う。(★)
 - (2) 「スカウト章」、「モットー」、「スローガン」の意味を説明できる。
 - (3) 日本の国旗の正しい様式を知り、集会で掲揚柱に掲揚する。
 - (4) 「連盟歌」が歌える。
- 2 健康と発達**
 - (1) 体温と脈拍を正しく測ることができる。
- 3 スカウト技能**
 - (1) 自分の体や身近にあるものを用いて簡単な計測を行う。
 - (2) 集会で使う身ぶり信号(気をつけ、休め、すわれ、分けと集合隊形の各種サイン)、笛の合図を覚える。

2級スカウト章



初級スカウトは、次の項目を修了した後、所定の手続を経て、2級スカウトとなる。

- 1 基本**
 - (1) 「ちかい」と「おきて」について意味を説明でき、その実践に努力していることを隊長に認めてもらう。(★)
 - (2) 日本の国旗の意味、歴史、仕様を説明でき、班や隊の活動で国旗を正しく掲揚できる。
 - (3) 外国旗およびその国のスカウト章を5か国以上見分ける。
- 2 健康と発達**
 - (1) 体温、脈拍と体調との関係について説明する。
 - (2) 救急法
 - ① 日常遭遇しやすい次のような場合の応急手当や対応を説明できる。
 - ア) 鼻血 イ) 目のちり ウ) やけど エ) 指の切り傷 オ) 立ちくらみ カ) 頭痛 キ) 蜂、ダニ、毛虫などの虫さされ ク) 熱中症
 - ② 三角布で他人の頭、手、ひざ、足に包帯を巻き、腕を吊る方法を実演する。
 - (3) 隊または班の安全係を担当する。
- 3 スカウト技能**
 - (1) 16方位と方位角の呼び方を覚え、コンパスで進路を発見する。

1級スカウト章



2級スカウトは、次の項目を修了した後、所定の手続を経て、1級スカウトとなる。

- 1 基本**
 - (1) 「ちかい」と「おきて」の実践に努力していることを日常生活で示す。(★)
 - (2) 姉妹都市または自分が興味を持っている2か国の民族、文化、通貨、言語を調べ、隊または班集会で話す。
 - (3) 日本の国旗と外国旗を併用して掲揚および設置するときの注意事項を知る。
 - (4) 半旗の意味と正しい掲揚の方法を知る。
- 2 健康と発達**
 - (1) 50m 泳ぐか、1,000m を走り、自己記録を更新できるように努力する。
 - (2) 水分や食物の補給が体調に与える影響を知り、体調を管理するための準備ができる。
 - (3) 救急法
 - ① 班員1人と協力して、急造担架を作り、実際に人を運ぶ。
 - ② 直接圧迫止血法と間接圧迫止血法の違いを知り、直接圧迫止血法による応急処置ができる。
- 3 スカウト技能**
 - (1) 班の炊事係として、キャンプの調理を担当する。
 - (2) 自然物(石、木、竹等)を用いた、キャンプに役立つ工作を1つ以上作成する。

菊スカウト章



1級スカウトは、次の項目を修了した後、所定の審査と面接を経て、菊スカウトとなる。

- 1 基本**
 - (1) 「ちかい」と「おきて」の実践に努力して、他のスカウトの模範となる。(★)
 - (2) 1級スカウト章を取得してから班長、次長、隊付、上級班長として隊運営に6ヶ月以上携わる。
 - (3) B-Pのラストメッセージを読み、隊長とその内容について話しをする。(★)
- 2 健康と発達**
 - (1) 自身の体力向上に向けて努力していることについて、隊長と話し合う。(★)
 - (2) 救急法
 - ① AED(自動体外式除細動器)について以下のことが説明できる。
 - ア) AEDとは何か イ) どのような時に使用するか ウ) 使用の手順
 - ② たばこ、アルコール、薬物が人体へ及ぼす害について知る。
- 3 スカウト技能**
 - (1) 技能章から「野営章」「野外炊事章」を含む合計6個取得する。
 - (2) 地球環境問題について1つ取り上げ、自分には何ができるかを説明する。
 - (3) 班キャンプの計画を立てて1泊以上の固定キャンプを実施し、隊長に報告書を提出する。(★)
 - (4) 自分の住む地域のハザードマップを入手し、他のスカウトや指導者にそこに記載されていることから何がわかり、どのような備えが必要かについて説明する。
- 4 奉仕**
 - (1) 団や地域で取り組んでいる奉仕活動に4日以上(1日1時間以上)参加する。
- 5 信仰奨励**
 - (1) 信仰奨励章を取得する。(★)

- 3 ロープ結び**
 - ① 次のロープ結びの使いみちを理解し、実際に使う。
 - ア) 本結び イ) 一重つぎ ウ) ふた結び エ) もやい結び オ) 8の字結び
- 4 善行**
 - (1) 集会などで行う社会奉仕活動へ積極的に参加する。
 - (2) 住んでいる地域の避難場所を説明できる。
- 5 信仰奨励**
 - (1) 隊集会やキャンプ、ハイキング等で行うスカウトウオン・サービスに参加する。
- 6 班長会議**
 - (1) 初級スカウトとして進級することを、班長会議で認めてもらう。



スカウトバッジ

スカウトバッジは、ボーイスカウト隊への新規入隊スカウトが初級スカウト章を取得するまでの期間に着用する。

- 2** 2万5千分の1地形図を用いて次のことをする。
 - ① 図上に示された2つの地点の間の方位角、直線距離、標高差、道路に沿った歩行距離を読む。
 - ② 真北と磁北の違いを説明する。
 - ③ 500m(または1km)ごとの方眼を正確に書き入れた地形図により、6桁(または8桁)座標読みを行い、示された地点に到達する。
- 3** 10個以上の地形図記号を覚える。
- 4** 地図とコンパスを用いた10km程度のハイキングを計画し、隊長の指名する2級以上のスカウト(ただし、適任者がいない場合はベンチャースカウトも可)とともに、保護者の同意のもと実施し、報告する。このハイキングは、1 基本(1)および6 班長会議(1)以外の課目を修了した後に、仕上げの課目として行う。(★)
- 5** ナイフ、なた、のこぎりを安全に使用でき、手入れと保管ができる。
- 6** 火口、焚き付け、薪を作り、マッチ2本で火を起こし、500mlの水を沸騰させる。
- 7** 次のロープ結びの使いみちを理解し、実際に使う。
 - ① 巻き結び ② ねじ結び ③ 引きとけ結び ④ ちぢめ結び ⑤ 腰掛け結び ⑥ てぐす結び ⑦ てこ結び

- 8** 張り綱結び
- 9** 24個の小さな物を1分間観察し、そのうちの16個以上を記憶によって答える。
- 10** 100mの距離を誤差5%以内で歩測する。
- 11** スカウトペースで2kmを15分で移動する。
- 12** 片かな手旗信号で15の原画を理解し、10文字程度の語句を発信、受信できる。
- 13** 自宅および活動場所から近隣の避難場所を探し、ルートを示すこと。
- 4 奉仕**
 - (1) デンコーチとして3か月以上の奉仕、または社会奉仕活動を3回以上実施する。
- 5 信仰奨励**
 - (1) スカウトウオン・サービスで、自分ができる役割を果たし、「ちかい」と「おきて」を日常で実践したこと、感じたことを発表する。
- 6 班長会議**
 - (1) 初級スカウトとして3か月以上、隊および班活動に参画して参加したことを班長会議で認めてもらう。

- 3** キャンプにおける用便、ゴミ処理ならびに食料保管について、衛生上注意する点を知り、実践できる。
- 4** 次に示すキャンプ経験について、いずれかの条件を満たしている。
 - ① ボーイスカウト隊に上進してから、連続5泊以上の隊キャンプか自団の班・隊で参加できる地区、県連盟、日本連盟のキャンプ大会に参加している。
 - ② 2級スカウト章を取得してから、通算6泊以上のキャンプ経験を有している。
- 5** 1級旅行(1泊24時間以上のハイキング)の計画書を作成し、必要な個人装備を携行して隊長の指名するベンチャースカウト(ただし適任者がいない場合は1級以上のスカウト)とともに、隊長より与えられた課題と方法によりキャンプを行い、報告する。このハイキングは、1 基本(1)および6 班長会議(1)以外の課目を修了した後に、仕上げの課目として行う。(★)
- 6** 次のロープ結びの使いみちを理解し、実際に使う。
 - ① 垣根結び ② よろい結び ③ 馬つなぎ ④ からみ止め ⑤ バックスプライス ⑥ 角しぼり ⑦ はさみしぼり ⑧ 筋かいしぼり

- 7** 北極星の発見方法を知り、北極星を発見できる。また、5つの星座を発見できる。
- 8** 簡易測量法を用い、到達できない2点間の距離(長さ、高さ)を誤差10%以内で測る。
- 9** ハイキングで野帳をつけ、またその野帳によって略地図を作る。
- 10** 片かな手旗信号で20文字以上の文章を発信、受信できる。
- 11** 号笛を使って野外でできる簡単な通信ゲームを考え実施するか、号笛を使用した救難信号を覚える。
- 12** 技能章から「読図章」を含む合計3個取得する。
- 4 奉仕**
 - (1) 班での奉仕活動を計画し、隊長の承認を得て実施、報告する。(★)
 - (2) 地域や学校等の環境保全活動や避難訓練に参加する。
- 5 信仰奨励**
 - (1) 隊集会やキャンプ、ハイキングで行うスカウトウオン・サービスで、主要な役割を果たす。
- 6 班長会議**
 - (1) 2級スカウトとして3か月以上、隊および班活動に参画して参加したことを班長会議で認めてもらう。

- 6 班長会議**
 - (1) 1級スカウトとして4か月以上、隊および班活動に参画して参加したことを班長会議で認めてもらう。

図解

進級に必要な技能章が変わります

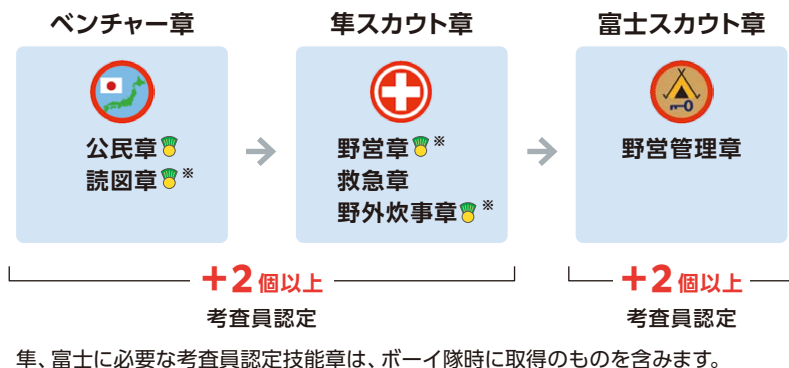
※ 読図章、野営章、野外炊事章は、ベンチャー隊から入隊した場合、もしくはボーイ隊での進級状況に応じて、それぞれの進級で取得必須となります。

各進級課程で履修が必須となっていた技能章が次のとおり変更となります。スカウトは隊長と相談しながら、自分の興味のある技能章に挑戦してみましょう。

菊スカウトまでに合計6個以上必要



富士スカウトまでに合計10個以上必要



ベンチャースカウトの進級課程・課目

新しい各進級章の細目は次のとおりです。各履修細目は隊長が承認します。

ベンチャー章



入隊したベンチャースカウトは、次の項目を修了した後、所定の手続きを経て、ベンチャー章を着用する。

- 基本**
 - (1) 日常生活において「ちかい」と「おきて」の実践に努め、自身の「日日の善行」について考えを隊集会で発表する。
- スカウト技能**
 - (1) ベンチャースカウト隊の活動に参加し、その結果をふまえて次回集会の企画書を提出する。
 - (2) 技能章から「読図章」、「公民章」を取得する。
- スカウト精神**
 - (1) 『スカウティング・フォア・ボーイズ』のキャンプファイア物語 21、22 および 26 を読み、内容について隊で話し合う。
- 信仰**
 - (1) 信仰奨励章を取得する。

アドベンチャーバッジ
アドベンチャーバッジは、ベンチャースカウト隊への新規入隊スカウトがベンチャー章を取得するまでの期間に着用する。

隼スカウト章



ベンチャー章を取得したベンチャースカウトは、次の項目を修了した後、所定の考査と面接を経て隼スカウトとなる。

- 基本**
 - (1) ベンチャー章取得後、最低4か月間「ちかい」と「おきて」の実践に最善をつくり、隊集会で発表する。
- スカウト技能**
 - (1) 自ら課題を設定し、安全、衛生、環境に配慮した、2泊3日以上移動キャンプを計画、実施、評価をまとめ報告する。
 - (2) 技能章から「野営章」、「野外炊事章」を取得する。
 - (3) 考査員認定の技能章から「救急章」を含む3個取得する（BS時に取得した考査員認定の技能章を含む）。
- スカウト精神**
 - (1) 地区や県の仲間や地域の仲間と、自分たちの活動や社会における課題をフォーラム形式で話し

- 合い、将来につながる活動を実施する。
- 4 奉仕**
 - (1) 隊や団、地域社会に貢献することを課題として企画、計画し、実績を隊長に提出する。
 - 5 信仰**
 - (1) 自分が信仰する宗教もしくは自分の心に触れた教宗派の歴史と教えを知る。
 - 6 成長と貢献**
 - (1) 個人プロジェクトまたは、チームの主要な役割として、プロジェクトを計画、実施し、隊長に報告書を提出し、「隼プロジェクト」として団行事等で発表する。

富士スカウト章



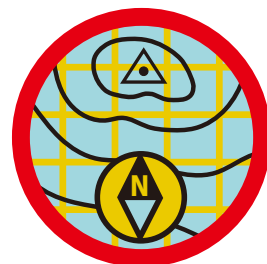
隼スカウトは、次の項目を修了した後、所定の考査と面接を経て富士スカウトとなる。

- 基本**
 - (1) 隼スカウトとして、最低6か月間「ちかい」と「おきて」の実践に最善をつくり、地域や団行事などで発表する。
 - (2) 現在の自分の考えと将来の進路についてまとめ、その内容を隊長と話し合う。
- スカウト技能**
 - (1) 自ら設定する課題により、2泊3日以上固定または移動キャンプを計画し、実施後、評価を報告書にまとめ隊長へ提出する。
 - (2) 考査員認定の技能章から「野営管理章」を含む合計6個以上取得する（BS時に取得した考査員認定の技能章を含む）。
- スカウト精神**
 - (1) 『スカウティング・フォア・ボーイズ』を読み、自身が今後の人生においてどのように社会に対し

- て貢献できるかを隊長と話し合い感想文を提出する。
- 4 奉仕**
 - (1) 地域社会や学校などでの奉仕活動を企画し、隊長の承認を得て実施、報告する。
 - (2) 地区、県連盟、日本連盟の行事等に奉仕し、その実績を報告する。
 - 5 信仰**
 - (1) 宗教章を取得するか、取得に対して努力していることを隊長に認めてもらう。
 - 6 成長と貢献**
 - (1) 隼スカウトとして自己の成長と社会に役立つための課題を設定し、個人プロジェクト（研究、製作、実験など）を自ら企画して複数月の期間で実施し、完結させ隊長に報告書を提出し「富士プロジェクト」として地域や団行事で報告する。

技能章が新設「読図章」

これまで各進級課目にあった読図に関する細目をまとめた「読図章」を、隊長認定技能章として新設しました。



読図章

- (1) 16方位と方位角の呼び方を覚え、コンパスで進路を発見する。
- (2) 2万5千分の1地形図を用いて次のことをする。
 - ① 図上に示された2つの地点の間の方位角、直線距離、標高差、道路に沿った歩行距離を読む。
 - ② 真北と磁北の違いを説明する。
 - ③ 500m（または1km）ごとの方眼を正確に書き入れた地形図により、6桁（または8桁）座標読みを行い、示された地点に到達する。
- (3) 三角点、水準点、標高点、等高線とは何かを知り、三角点または水準点の標石を発見する。
- (4) コンパスを用い、バックベアリングができる。
- (5) クロスベアリングの手法を用い、地形図上で現在地を発見する。
- (6) 自分の住んでいる地域にある3つ以上の施設へ地図を使って案内ができる。



第13回 日本アグーナリー

13th Nippon Agoonoree

(国際障がいスカウトキャンプ大会)

会期 **2024年8月8日(木)~12日(月・祝)**
[スタッフは7日(水)から]

会場 **福島・国立磐梯青少年交流の家**

テーマ **We Can! ふかめよう友情、ひろげよう絆**



屋内プログラム

8年ぶりとなる日本アグーナリー。国内だけでなく海外からの参加も受け付けており、すでになんかの国から参加の希望が届いています。また、今大会では、ボーイスカウト加盟員以外の一般の方からの参加も受け付けており、広く社会に開かれたものとなっています。今号では、大会の魅力を紹介するとともに、今後の申込スケジュールについても案内します。全国の仲間に出会い、さまざまなプログラムを体験することができる大会で一生に一度の夏を過ごしてみませんか？

大会の会場はこんなところ！

福島・国立磐梯青少年交流の家

磐梯青少年交流の家は、全国に13ある国立青年の家の3番目の施設として、昭和41年5月に開所しました。磐梯朝日国立公園の磐梯山麓南面に位置し、猪苗代湖や裏磐梯の多くの湖沼群などの、山と湖と森の豊かな自然に囲まれた青少年教育の拠点として、年間を通じ、福島県内はもとより、関東・東北地方を中心に多くの青少年が訪れ、自然体験活動・スポーツ・研修等に利用されています。(施設ホームページより一部引用)

大会の開催にあたり、スロープの設置や会場利用の便宜を図っていただくなど、大会を力強くご支援いただいています。



いよいよ この夏開催！



会場は大きく生活エリアとプログラムエリアに分かれており、参加者は野営か舎営を選択して4泊5日生活をします（カブスカウト年代は舎営のみ）。どちらの生活にしても大会のスタッフが隊指導者の皆様とともにスカウトたちの安全と安心を見守ります。

プログラムエリアでは、野外炊事や工作、磐梯の自然に触れるアクティビティなど、およそ20のプログラムがあり、普段はできないような体験が参加者を待っています。



ネイチャーゲームで自然と友達！ ばんだいの自然とともに

ゲームをとおして自然に触れながら親しみの心を育みます。



夢よ届け！巨大ランタンの光 ドリームドームを作ろう

みんなの夢を乗せて大きな光のドームを作りましょう！これは1日で完成するものではなく、期間中にみんなで協力して作り上げるプログラムであり、大会テーマにもある「絆」を感じることができます。



ここでしか作れない！大会限定！

シルクプリント

大会オリジナルデザインで自分だけのグッズを作ることができます。ハンカチやトートバッグ、Tシャツなど好きなものにプリントすることができます。



プログラムの一部をご紹介します！

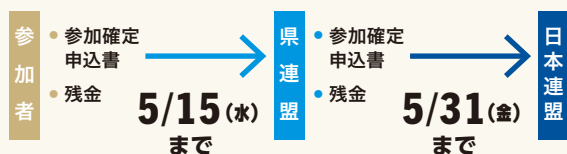
会場の中だけでなく、場外に飛び出して福島を味わうことができる「場外プログラム」を6コース用意しています。郷土の工芸体験やお城の見学、湖での観光船や牧場での動物との触れ合いなどそれぞれのコースにはたくさんのワクワクが詰まっています。

また、大会期間中それぞれの夜には、全国・世界の仲間である参加者が一堂に会し、相互に交流する「全体交流行事」も行います。大会最後の夜には「磐梯の夕べ」として福島連盟の企画による特別なお祭りのようなイベントも計画しています。

※プログラムは変更になる場合があります。

大会の参加情報

■ 参加申込の流れ



本大会では、2段階での申し込み制としております。参加予定申込を完了している皆様も、改めて確定申込の手続きが必要ですので、ご注意ください。

参加の定員に満たない場合は確定申込からの申し込みも受け付けます。

参加確定申込

1. 参加者は、大会 Web ページ上の参加確定申込フォームに必要事項を記入し、印刷した申込書に参加費を添えて、5月15日までに団を通じて所属の県連盟へ提出してください。
2. 県連盟は、参加確定申込書を取りまとめ、参加費を添え、5月31日までに、日本連盟事務局へ提出をお願いします。
3. 日本連盟では、参加確定申込書を確認のうえ、参加承認書、参加章、その他必要な書類を、7月初旬頃に送付する予定です。



■ オンライン相談会 [報告]

2月6日に大会についての説明会をオンラインで開催し、200人近い方にご参加いただきました。大会実行委員会からは、大会概要や参加方法の説明に加え、障がいに関する社会の変化と大会の考え方についても話しがあり、参加隊・本部スタッフ・チャレンジグループといったそれぞれの立場で参加することの意義を共有することができました。



■ デイビジターも募集します！

(日帰り参加者)

大会に全期間参加することが難しい方や参加対象に満たない年齢のお子様、そして近隣にお住まいの皆様などはデイビジターとして日帰りで参加することが可能です。場内では大会プログラムの一部にも参加することができますので、ぜひお越しください。11日は夕方より「磐梯の夕べ」を開催します。参加には事前に申し込みが必要です。

デイビジターについての詳細は今後、大会 Web ページなどでご案内いたします。

デイビジター受入日

8月9日(金)、10日(土)、11日(日)

■ スペシャルコンテンツ

大会 Web ページでは、大会を盛り上げるためのコンテンツを掲載しています。オンライン会議などの背景として使える壁紙などご用意していますので、ぜひ一緒に大会を盛り上げていただければと思います。



『ひろげようソングの響き!』

～プログラムとソング～

2024年1月号で紹介したアクションソング3曲に続き、班や組の集会でスカウトソングの練習で活用できる新たな音源を準備しています。今号では、準備や収録の様子など、音源制作の裏側をお伝えします。

音源制作最新情報

昨年、録音したスカウトソングのピアノ伴奏と新たに打ち込んだ音源に、公募したローバースカウトたちによる歌唱を都内スタジオにて録音しました。また、録音に先立ち、東京のスカウト会館にて、神奈川連盟横浜カラーチームの協力で、連盟歌の指揮を撮影しました。

音源制作メンバーと協力者とで事前のオンライン会議を経て、録音済みの伴奏曲から候補曲を絞り、録音当日は半日掛けて5曲の歌唱収録を行いました。1曲収録するのに約1時間、一人ひとりが録音スタジオで歌います。最初は、何回か歌ってOKとなっていたものが、そのうちに一発OKとなることもあり、徐々に歌い方にも慣れながらの録音作業でした。



一人ずつスタジオに入り、ドキドキの録音



横浜カラーチームによる指揮の撮影

集会で歌うためのコンテンツを



録音した曲をチェック

録音前のミーティング

正しい音程やリズムの正調の曲を聞くのであれば、CDのスカウトソング集があります。現在、タスクチームでは「キッチリしたものより元気な感じ」、ソングを歌うことによって集会が明るくなるような新音源を目指しています。そのために、スカウトたちが身近に感じるローバースカウトたちの歌唱で、集会で歌っているような元気を切り取った音源となっています。

タスクチームの中では、今回の新音源の出来栄は80点、でも、集会で歌っているなら100点という評価がありました。曲制作は、楽譜に沿って正確に歌唱・演奏していきますが、制作者や歌唱・演奏者の感性が含まれ、同じ曲でも作り手の思いと一緒にできあがりに違いがでます。今回の収録にあたっては正確・忠実にとしながらも、制作者としての感性が徐々に表れてきました。それは、「歌う楽しさを伝えたい」という気持ちです。組や班の集会で音源を使って歌の練習、自信をもって歌うことができれば、次第に元気に楽しく歌うことができるはずです。何度も聞いて、皆さんも歌う楽しさを次の人に伝えましょう。

今後のスケジュール

2023年12月

アクションソング
先行公開

2024年2月

動画・音声
データの編集

2024年3月

新たな
音源データの公開

2024年度中

新たなデータ制作に
向けた調査・研究

タスクチームとPRドリームチームの音楽や映像の専門家によって随時作業を進めており、今後もセレモニーや活動に合わせたソングの新音源を制作・公開予定です。今後の新しい情報や詳細情報は、日本連盟 Web ページをご確認ください。



https://www.scout.or.jp/member/scoutsong_soundsource



報告 第4回世界スカウト教育 कांग्रेस

2013年から始まり今年で4回目となる「世界スカウト教育 कांग्रेस」がフランス・パリで開催され、青少年のリーダーシップ、SDGs教育、異文化理解、多様性、世代間パートナーシップ、デジタルコミュニケーションの分野における世界のノンフォーマル教育（学校以外の教育の場）の推進に向けた最新動向や各国の取り組みについての情報共有が行われました。



■ 概要報告

開催日程

2023年12月1日(金)～3日(日)
3日間

開催場所

パリ国際大学都市

主催

世界スカウト機構 (WOSM)

参加人数

約500人 [オピニオンリーダー、教育者、学者、WOSMパートナー]

75の国と地域を代表する各国NSO・NSA指導者が参加

テーマ

Reimagine education in Scouting
『スカウト教育を再考する』

主な議題

青少年プログラムや成人資源に関する経験や専門知識の共有や議論

参加者

小池 さくら [日本連盟理事/青年代表]

片寄 朗 [日本連盟教育推進本部長(ブロック統括コミッショナー)/APRユースエンゲージメント小委員]

渋谷 健太郎 [日本連盟事務局職員]



今回は、次世代に向けて青少年プログラムを最新化する方法について学び、Scouts for SDGsの教育的取り組みを国内のスカウトプログラムに採用する方法を模索するために、教育や青少年育成面の最新動向について外部協力団体の講義を聴講する機会を提供されました。12の全体セッションと、毎日20の教育に関わるテーマから選んで参加する選択セッションが展開され、各国NSO・NSAの取り組みを共有したり、WOSMで検討されている新たなトピックの情報が広く共有されました。

■ スカウティングの教育ロードマップ

世界中の若者とボランティアのために、スカウト教育がより変革的でインクルーシブ(包括的)なものとなるよう、明確な行動を呼びかけていくこととし、今回の重要な成果として、

「Roadmap for Education in Scouting (スカウティングの教育ロードマップ)」が採択されました。その中で、スカウティングにおける教育の将来的な展望として、【10の変革の方向性】が示されました。

ロードマップの全文については、世界スカウト機構のWebサイトからご覧ください。

<https://www.scout.org/news/congress-roadmap-sets-education-direction>



日本連盟では、新年度を迎えるにあたり、 कांग्रेसで示された多くの情報や方向性が、日本連盟中長期計画の取り組みと相違ないものは推進し、新たな発見は随時反映させていけるよう、これからも取り組み続けます。

例年掲載している「世界のスカウト人口」は、現在世界スカウト機構(WOSM)では合計数(174の国と地域で5,700万人以上)のみが発表されています。今後、国別のスカウト人口が公表されましたらお知らせします。

報告

2023年度 [2024年1月実施] 日韓スカウト交歓計画

日韓スカウト交歓計画は、新型コロナウイルス感染拡大の影響と韓国連盟の第25回世界スカウトジャンボリー準備を考慮して、2020年1月実施を最後に中断していましたが、4年ぶりに再開することができ、通算21回目となる事業を実施しました。

今回は1月6日(土)から14日(日)までの9日間、韓国からスカウト27人、指導者4人、計31人を招聘し、東京の国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて日韓スカウトフォーラムと韓国スカウトの「見学プログラム」を実施しましたので、その模様をご紹介します。

■期間 1月6日(土)～14日(日)9日間 ■場所 東京・富士・箱根 ほか ■人数 韓国連盟参加者(スカウト27人、指導者4人)計31人、日本連盟参加者(日韓スカウトフォーラム参加)計37人(30県連盟) ■日程 日韓スカウトフォーラム 1月6日(土)～8日(月) / 韓国派遣団見学プログラム 1月9日(火)～13日(土) / 韓国派遣団帰国 1月14日(日)

■ 日韓スカウトフォーラム

1月6日(土)、韓国派遣団が羽田空港に到着し、9日間の交歓計画がスタートしました。30県連盟から日本のスカウト37人が東京・代々木にある国立オリンピック記念青少年総合センターで韓国参加者31人を歓迎し、3日間の日韓スカウトフォーラムを実施しました。

1日目は開会式と仲間作りゲーム(アイスブレイクプログラム)、2日目は日韓スカウトの混成グループによるSDGsに関する話し合い、夕食後の文化交流会では、日韓スカウトがダンスや歌を披露しました。3日目は日韓スカウトフォーラム最終日で、各混成グループによる話し合いの内容を発表し、この3日間で互いに学ん

だことを共有しました。その後のフォーラム閉会式では、このプログラムが両国の理解と友情を深めるものになったことを改めて確認しました。

各グループのフォーラムでの話し合い内容

- 第1グループ 「男女平等」
- 第2グループ 「地球の保護」
- 第3グループ 「膨大なゴミの問題」
- 第4グループ 「プラスチックゴミ問題」
- 第5グループ 「地球環境を良くするためのゴミ問題」
- 第6グループ 「フードロス問題」
- 第7グループ 「海の問題」
- 第8グループ 「飢餓をなくす」
- 第9グループ 「平和問題」



■ 韓国スカウト各地見学

日韓スカウトフォーラム後、韓国スカウトは「スカイツリー」「浅草寺」「皇居」「山梨県立リニア見学センター」「山梨県立富士山世界遺産センター」「芦ノ湖」「熱海」「小田原城」「鎌倉」「横浜赤レンガ倉庫」「日本科学未来館」を訪れ、日本の自然・歴史・科学・文化などについて学びました。また、本郷中学校・高等学校を訪問し日本の教育について学びました。

1月13日(土)には、日韓スカウトフォーラムに参加したスカウトとスタッフの案内により6つのグループに分かれて秋葉原・神田・原宿・新宿・渋谷などを見学しました。



2023年度 スカウトの日

～プラごみバスターズ大作戦～

スカウトの日～プラごみバスターズ大作戦

2023年7月9日(日)～11月26日(日)

集中実施日 9月18日(月・祝)

主催 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟

協賛 一般財団法人セブン・イレブン記念財団

後援 文部科学省、環境省、こども家庭庁



「スカウトの日」サイト
<https://www.scout.or.jp/member/event/scout-day>

■ 今年度の実施状況報告

スカウト、指導者や保護者、地域の皆様のご協力により、日本全国、そして在外国日本スカウト団のあるシンガポールで「スカウトの日」の取り組みが実施されました。今年の取り組み結果については、以下のとおり報告がありました。



- 参加団数 / **407** 団
- 参加のべ人数 / **10,230** 人
- 拾った空き缶 / **7,124** 本
- 拾ったペットボトル / **9,982** 本
- 拾った可燃ごみ(袋) / **1,771** 袋
- 拾った不燃ごみ(袋) / **812** 袋
- 拾った資源ごみ(袋) / **1,072** 袋
- 植樹の本数 / **217** 本
- 協力いただいた企業・団体数 / **142** 企業

■ 環境展示会「エコプロ」に出展

2023年12月6日(水)～8日(金)の3日間、持続可能な社会の実現に向けた環境展示会「エコプロ」に出展し、今年度の「スカウトの日」の取り組みを紹介しました。エコプロは毎年12月に東京で開催されていて、エコな製品やサービスを一般向けに展示・紹介しています。当ブースには小中学生を中心に、3日間で約500人の来場者に知っていただくことができました。

- スカウトの日についての紹介パネル展示
- SDGs 発見ノート(生活編)・エコチェックボードの教材展示・配布
- 「地球に対してなにができるか」パネル展示・意見収集(主に来場いただいた小・中学生が対象)



■ 2024年度「スカウトの日」 参加記念バッジデザインの募集について

来年度もまた、この事業を“全国のスカウトが共に創り上げる”という意識を高めるため、多くのスカウトに親しみをもっていただけるバッジデザインを公募します。募集要項については、3月下旬ごろにスカウトの日の日本連盟 Web ページに掲載予定です。ぜひご応募ください。



2023年度の
参加記念バッジ

■ 「プラごみバスターズ大作戦」 の取り組みが表彰されました

当連盟創立100周年事業「プラごみバスターズ大作戦」が、地球温暖化対策に対する取り組みを表彰する脱炭素チャレンジカップ2024にて、全国の団体、学校、企業、行政の取り組みの中から、『奨励賞』をいただきました。48年間続く「スカウトの日」が、スカウトや指導者・保護者の皆さんに取り組んでいただいた成果です。ご協力ありがとうございました。



日本ローバームート2024 参加者募集中!

募集期間 2024年2月20日(火)～4月20日(土)

会期 2024年9月3日(火)～8日(日)

会場 日本連盟那須野営場



■ 来たれ青年のつどいへ

19年ぶりの開催となる本大会は、加盟登録のあるローバースカウトおよび同年代指導者を主な対象に、5泊6日で開催をします。

参加するローバースカウトにとって普段の活動では経験のできない冒険的なプログラムや、より専門的なプログラム、そして会場周辺地域の特性を生かした

地域貢献プログラムを提供し、社会に奉仕する上で必要な経験や知識を体得できる機会を得られます。また、アジア太平洋地域の国々からスカウトを招き、国際交流を活発に行える機会になります。

多くの体験と交流、学びに溢れる日本ローバームート2024にぜひご参加ください!

■ 魅力的なプログラム

プログラムは本大会の目的・目標に基づいて構築しており、半日・1日の単位で、野営場内に留まらず、登山やラフティングなど場外プログラムも実施します。登山は沼沓原湿原を出発し標高1,915mの茶臼岳に登ります。ラフティングは自然豊かな景色が広がる鬼怒川を仲間と力を合わせて下ります。ラフティング後には温泉に入るチャンスもあります! またご当地料理の調理など、開催地である那須の地でしか体験できないプログラムを実施します。全国・海外からスカウトが集まる大会として、6日間かけて多種多様な意見交換をすることで、より豊かな国際交流、自己理解に繋がるプログラムを実施する予定です。

全国・海外の仲間たちと、普段の活動ではできないプログラムを体験しませんか?



■ 実行委員長挨拶

日本ローバームート2024実行委員長
枝迫 雄大 (えださこ ゆうだい) 東京連盟世田谷第10団

19年ぶりのローバームート、テーマは「momentum (モメンタム)」。「勢い」「弾み」「推進力」という意味がある言葉です。止められない衝動。譲れないこだわり。



待ちきれない気持ち。ローバーのみんなが心の内に秘めた、いや、外まで溢れ出てしまっている熱意、エネルギーを大いにぶつける最高の場所、それがこのムート!!!

全国のローバースカウトの皆さん! 那須野営場で素晴らしい夏を一緒に過ごしましょう!!!

■ 参加方法

申込方法は、所定のフォーム*に入力し、自身のメールアドレス宛に届いた参加申込書を所属隊長(同年代指導者については団委員長)を通じて県連盟に提出してください。

*所定のフォームは右記のQRコード、または日本連盟Webページにてアクセスできます。

■ サービスチームの募集について

本大会では、サービスチーム員(ST)として当日の運営とその事前準備に協力して下さる方を募集しています。サービスチームは6つの部署に分かれています。それぞれの部署の説明と要項をご確認の上、お申し込みください。

*詳細は右記のQRコードよりご確認ください。

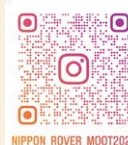
参加申込フォーム



ST (サービスチーム)
申込フォーム



公式 Instagram



■ 野外活動のための安心・安全講座

賠償責任保険と安全

ボーイスカウトには「そなえよつねに」というモットーがあります。これは、活動における準備の大切さや、未来の成長と活躍に向けて努力するといった意味もありますが、安全面で考えれば、事故を発生させないための注意喚起の言葉でもあります。つまり、他人にケガさせない、損害を与えないということを意識して行動することが大切です。

事故の発生を事前に予知することは出来ませ

ん。ただし、賠償事故を生じさせてしまうリスクの存在を日頃から理解しておけば、事故の発生頻度が下がる可能性は高くなります。

リスクとは「危険」と訳されることが多いのですが、「危険の生じる可能性や要因」も意味しますが、すなわち、何が事故発生の原因になるのかを把握しておくことは、賠償事故においても、危険予知という観点で、とても重要なことなのです。

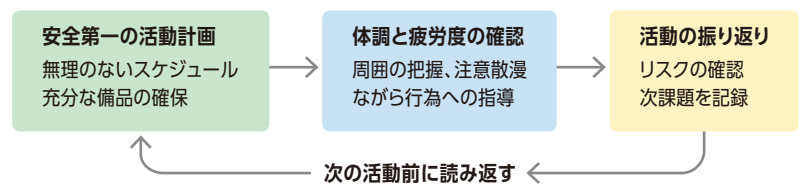


“賠償責任事故におけるリスク”

では、いったい何がリスクなのでしょう？ リスクと対策を以下にまとめてみました。

| 想定されるリスク | 対策 |
|--------------------|---|
| サイクリング、登山、スキー、スケート | 専門的な知識を有した指導者を選任、必要な備品の確保／普段の活動以上の人数で管理者を配置 |
| 体調不良や寝不足等健康面の不安 | 疲労・寝不足等にならないスケジュールの作成／連泊の活動においては、隊員の体調面をしっかりと管理 |
| よそ見・脇見・注意散漫等 | 休憩時間も含めた、リーダー・保護者の見守り活動／スマホ・タブレット等のながら行為への注意指導 |
| 慣れた土地や環境に対する油断 | 周囲の環境等、危険な場所の事前確認、当日の天候予想、活動開始前における注意事項の伝達 |

活動の最後に“振り返り”も大切です。どういったことがリスクを高めていたか参加者全員で話し合みましょう！それを記録しておき、次の活動前に読み返すことで、リスクの削減に必ずつながるはずです。



示談交渉と過失割合

賠償事故が発生した場合に、事故相手との交渉で忘れてはならないのが「過失割合」です。これは、当事者同士が、それぞれの程度の不注意や行動ミスがあったか、損害額を負担するにあたっての責任割合をいいます。

過失割合は、当事者間の示談で取り決められることもあります。保険会社における割合認定は、過去の判例等を参考に判断されます。従って、素人が勝手に取り決めてしまうと、支払われる保険金と示談金の間に差額が生じることとなり、その差額は、いわゆる自腹支払いとなってしまいます。

事故発生の直後は心理的に動揺していることもあり、「私の責任です」と言ってしまう人も多いのですが、相手の損害に対しては、「すみませんでした」としっかりお詫びの意思を示しつつも、「賠償については、後ほどご相談させてください」と話し、その場での約束はしないようにしましょう。冷静になって考えることで適切な判断が出来るからです。後日、事故状況を分析し、保険会社や専門家の意見をもとに交渉すると良いと思います。

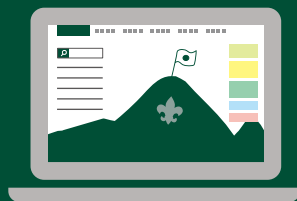
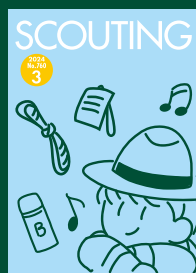
もしも事故が起こったら…

最善の注意を払ったとしても、偶然的事故というのは起こってしまうものです。その時どう対応したら良いか確認しておきましょう！

- 1 けが人がいたら救護を最優先！**
あわてずに行動、救急車の手配、応急処置
- 2 二次被害の防止**
安全な場所への避難、必要に応じて警察への通報も検討
- 3 事故状況の確認**
当事者氏名と連絡先の確認、目撃者の証言聴取と記録
- 4 保険会社へ連絡**
スカウト活動の場合は、日本連盟の安心・安全制度推進室へ

日本連盟が付保する賠償責任保険

日本連盟が付保している「対人・対物の賠償責任保険」は、加盟登録する団及び指導者を対象として、ボーイスカウト活動中の不慮の事故に起因して第三者に損害が生じた場合に、団や指導者の過失に基づく損害賠償額を、認められる過失割合に応じて補償するものです。ただし、補償の対象とならない場合もありますので、『そなえよつねに共済／賠償責任保険 手引き』（<https://www.scout.or.jp/member/group-operation/mutual-aid>）にて詳細をご確認ください。事故が生じたときは、直ぐに日本連盟の安心・安全制度推進室へご連絡ください。



「スカウティング誌」が HPや「マイページ」情報に

日本連盟から指導者の皆様への情報伝達方法が2024年度から大きく進化します。これまで長年にわたって情報伝達の「要」であった、紙媒体としての「スカウティング誌」は、2024年5月号をもって定期刊行を終えることになりました。今後は、ホームページなどデジタルツールを通じた情報伝達が中心になります。

最大の変化はスマートフォンなどから「マイページ」情報が入手できるようになることです。すでに試験運用が始まっていますが、最大の特長は情報の「宛先」を指定できることです。「全指導者」はもちろんのこと、「団委員長」や「ボーイ隊長」といった登録区分ごとに情報が届くようになります。当初はほとんどが「全指導者」などになると思いますが、徐々に細かく宛先区分を指定するなど、運用を進めていきたいと思っています。

これまで「スカウティング誌」は指導者だけにしか届きませんでした。今後はスカウト向けの情報伝達にもマイページは活用できるようになります。ちなみに、県連盟が県内の指導者・スカウトに情報発

信をするツールとしても使えるようになります。

これらのサービスは一度に始まるのではなく、少しずつ「進化」していきます。もちろん、そうした情報はすべて日本連盟のホームページにも掲載されます。

スマートフォン用アプリの開発を準備

2024年度の当初は、「マイページ」を自分から見に行かないと情報を得ることができませんが、次のステップとしてスマートフォン用のアプリを開発、あなた宛に情報が届いたことが手元で分かる仕組みを導入していきます。

システム開発には膨大な費用がかかります。しかし、デジタル化は時代の流れですし、利便性を飛躍的に高めるためにも対応は待った無しです。限られた予算の中でより便利な情報ツールを整備していきます。

紙の方が効果があるものは紙媒体で

すべての紙媒体が消えてなくなるわけではありません。スカウティング誌のスタイルを踏襲して、「ジャンボリー特集号」な

どを刊行したり、保護者向けの新しい情報誌を発行することも検討しています。従来の指導者として登録している人だけでなく、新しい登録区分で誕生する、保護者などの「サポーター」や「OB・OG」などに広く頒布できるものを検討していきます。要は紙の広報効果が大きい内容のものは紙媒体で、スピードが重要だったり宛先が絞られている情報はデジタルツールでお届けするというのが基本的なスタンスです。

新「広報委員会」は若手委員を募集中！

2024年度から委員会体制が刷新されるのに合わせて、広報委員会は大幅な若返りと人数の増強を行います。新広報委員会ではスカウト運動を強力に広めていくために、ブランディングの構築推進や、普及資料の全面改訂なども行っていきます。また、若手委員の公募も行いますので、我こそはというローバーや若手指導者の方には積極的なご応募をお待ちしております。

広報委員会

ご支援ありがとうございます

維持会員(敬称略)

2023年 11~12月度

スカウト運動を財政面からご支援いただいている個人・法人会員の方々です。

【北海道】

柴 千鶴子
吉田 源彦 田岡 邦子
三国 久介 山下 博行
高橋 明 最首 守雄
BS札幌地区委員会 鶴澤 弘明
B S 北見 2 針谷 誠一
BS北海道連盟 小野寺 克文
理事会一同 小林 恒行

【青森】

黒澤 憲一郎

【岩手】

三浦 弘次 小黒 将年
諏訪 神社 鎗田 浩二
日東自動車工業(株) 市川 学園

【宮城】

野中 孝三 小畑 修平
橋浦 寛 内藤 優
和田 剛和 池田 真一

【秋田】

木村 那樹 須藤 守之
田村 広美 濱田 雅弘

【山形】

大沼 保義 守屋 光高
加藤 光洋 遠藤 直樹
齋藤 勉 菅原 信浩

【福島】

工藤 信行 龜田 幸成
【茨城】 小山 貴司

【栃木】

中臣 正範 B S 川崎 5 3
新井 政一郎 B S 横浜 6 1
押田 好雄

【群馬】

小暮 雅丈 松木 淳一
吉井 良弘 三井 啓一郎
小倉 豊人 今津 直記
夏目 正 松原 典子
高松 富雄 吉村 利信
荻原 幸雄 平山 充

【埼玉】

浅倉 祥弘 大橋 仁
井上 久雄 渡邊 博隆
金重 一夫 五十畑 康則
森 正晴 柳 久之
鈴木 俊明 北爪 太主司
山本 誠一 岩崎 健三
神田 三枝 藤田 信介
樋渡 重和 松原 秀典
黒澤 岳博 井垣 光弘
平松 義明 久米 邦一
小川 若夫 花淵 修一
四阿 久修 岡村 奈奈
寺田 昌哉 松下 善守
前川 静男 小島 明子
B S 桶川 1 荒川 善彦
BSさいたま10育成会 荒川 栄治郎
BSさいたま205 佐藤 成
B S 上尾 9 吉田 良文
B S 上尾 1 3 華厳院 矢田融海
横井電気工業(株) 藤本 晃

【千葉】

菊地 康介 平本 勝哉
立川 征彦 狩野 和見
星 淳一 町田 正照
森屋 啓 山並 茂彦

三代川 雄二
西澤 正之
一柳 憲正
奥村 綱大
田村 芳雄
道上 隆
安藤 潤
古川 久生
小澤 文世
久保田 温
金田 一良
川口 正博
中田 昇
和田 正仁
宮下 裕
江原 光一
峯崎 孝祐
坂元 瑞夫
柿沼 勇太
木村 行伸
茂村 豊
名古路 勝彦
原田 明
佐藤 直紀
岡野 健太
大野 亮雄
小林 徹
大野 忠正
平野 勝則
志賀 宏昭
B S 三鷹 1
B S 葛飾 9
B S 渋谷 9
B S 台東 4
B S 足立 5
BS練馬地区
BS東京連盟

【神奈川】
小畑 修平
内藤 優
池田 真一
福田 功
須藤 守之
濱田 雅弘
太田 勉
守屋 光高
遠藤 直樹
菅原 信浩
龜田 幸成
小鶴 英昭
小山 貴司
木村 寿宏
河崎 栄作
葛西 映子
伊藤 郁夫
海野 和俊
B S 川崎 5 3
B S 横浜 6 1

【山梨】
松木 淳一
三井 啓一郎
今津 直記
松原 典子
吉村 利信
平山 充
大橋 仁
渡邊 博隆
五十畑 康則
柳 久之
北爪 太主司
岩崎 健三
村山 幸平
藤田 信介
松原 秀典
井垣 光弘
久米 邦一
花淵 修一
岡村 奈奈
松下 善守
小島 明子
荒川 善彦
荒川 栄治郎
佐藤 成
吉田 良文
華厳院 矢田融海
藤本 晃
安部 徹
平本 勝哉
狩野 和見
町田 正照
山並 茂彦

【静岡】
柴田 尚道
松本 俊信
大川 靖夫
富田 三代治
佐野 愛子
和田 篤夫
松田 茂
小城 茂子
北村 誠
芹澤 秀樹
渡邊 聡
久原 宗仁
杉山 伊佐子
油井 和行
井出 利恵
酒井 和人
BS静岡10育成会
BS清水地区

【愛知】
宇野 眞之
肥田 荘治
小栗 宏次
熊沢 峯
平手 和一
森 明
渡辺 勝彦
林 悦子
寺原 久男
伊藤 澄雄
山口 正春
神谷 能宏
溜島 光則
鈴木 市男
山本 真一
林 康兵
白井 利幸
串崎 武志
森 彰康
西村 明彦
郷司 朋明
長友 泰朗
後藤 宗行
藤 利幸
鈴木 英明
中山 和歌代
中村 里美
川上 次朗
三浦 浩嗣
土川 保夫
外山 悟
山崎 義和
中出 尚彰
浅井 崇義
吉野 泰博
中村 倫之
北川 敏崇

【三重】
森 淳之祐
前田 隆司
柴田 伸彦
山口 成治
正木 靖宏
B S 伊勢 7
(株)服部工務店
(株)富士製作所

【滋賀】
中野 幸彦
小森 悦男
木村 誠
船田 勉
深田 清一

【京都】
福原 洋
山下 琢
中川 久徳
定永 好夫
(株)ケーオーシー

【兵庫】
日下 孝明
中田 淳子
新戸 建男
荒西 元治
平池 邦夫
田邊 千尋
富永 彰良
瀬山 宏
林田 平八郎
寄田 昌宏
能登 祐一郎
吉川 芳男
池澤 榮次郎
赤松 由久
小谷 重男
宮田 委宏
野玉 一夫
野々村 禎之
高橋 弘之
中田 和葉
丸尾 洋一
永井 裕介
藤田 智之
沖塩 篤弘
水谷 光明
岡田 裕
加藤 正巳

【大阪】
井上 菊信
本多 至成
城島 末明
喜多 文夫
塩山 文夫
佐藤 嘉昭
松下 修造
高見 篤志郎
福田 雅之
今田 忠行
中野 正
村木 千恵
阿江 敏行
大阪スカウトクラブ

【鳥取】
松田 一三
松本 俊寛
【島根】
又賀 航一
中澤 梧郎
千家 隆比古
(株)アイルコーポレーション

【岡山】
三宅 照正
杉本 興一
(株)山下体育社

【広島】
中川 元慧
安部 孝次郎
中川 恵利
橋本 貢

古家 章
中畑 晃一
古家 恭子
日比野 守
曾我 康
廣瀬 重幸
勝野 雅和
渡辺 芳弘
武井 拓運
本多 健司
高井 史樹
水野 和美
アサヒ織機工業(株)
(株)スズキ工業所
(株)積翠食品

【奈良】
辻村 泰範
永広 逸子
松下 武雄
宮脇 誠一
甲元 公枝
松浦 幸夫
森田 良輔
松本 安嘉
飯田 泰弘
藪岡 美美
友岡 清一
サンディスト(株)

【和歌山】
巴陵院 浦上隆康
加藤 隆也
石本 省三
安達 実
大岡 正斉
辻 節子
宮本 昌幸
野村 義夫
酒井 孝之
阪井 信也
伊藤 真輝
平井 孝剛
森下 曾我部大朗
寺田 伸也
西田 昌弘
三木理研工業(株)

【徳島】
秋岡 芳郎
荒木 隆治
山根 義孝

【香川】
村上 清宣
橋本 重雄
吉田 往嗣
湖崎 武敬
菅原 良弘
大須賀 誠
今岡 扶彰
岩井 敏恭
坂間 高博
岡 真一
高尾 壽一

【愛媛】
井上 勝
青木 浩
【福岡】
熊本 幸雄
井手 直秀
白濁 琴江

【大分】
戸高 有基
内田 日出男

【宮崎】
豊秀 昌彦
橋田 和実

木戸 康尊
池田 由利子
BS名古屋30
BS名古屋79
BS名古屋22
B S 豊川 4
B S あま 3
B S 犬山 7
B S 豊橋 1
B S 豊橋 4
B S 安城 1
B S 美浜 2
BS岡崎3育成会
BS名古屋101育成会
BS名古屋64育成会
BS西尾2リーダーク会
大東工業(株)
岡谷不動産(株)
(株)クロス技研
(有)みどり薬房若葉
深谷行弘
(株)花井組
巴運輸(株)

【三重】
森 淳之祐
前田 隆司
柴田 伸彦
山口 成治
正木 靖宏
B S 伊勢 7
(株)服部工務店
(株)富士製作所

【滋賀】
中野 幸彦
小森 悦男
木村 誠
船田 勉
深田 清一

【京都】
福原 洋
山下 琢
中川 久徳
定永 好夫
(株)ケーオーシー

【兵庫】
日下 孝明
中田 淳子
新戸 建男
荒西 元治
平池 邦夫
田邊 千尋
富永 彰良
瀬山 宏
林田 平八郎
寄田 昌宏
能登 祐一郎
吉川 芳男
池澤 榮次郎
赤松 由久
小谷 重男
宮田 委宏
野玉 一夫
野々村 禎之
高橋 弘之
中田 和葉
丸尾 洋一
永井 裕介
藤田 智之
沖塩 篤弘
水谷 光明
岡田 裕
加藤 正巳

【大阪】
井上 菊信
本多 至成
城島 末明
喜多 文夫
塩山 文夫
佐藤 嘉昭
松下 修造
高見 篤志郎
福田 雅之
今田 忠行
中野 正
村木 千恵
阿江 敏行
大阪スカウトクラブ

【鳥取】
松田 一三
松本 俊寛
【島根】
又賀 航一
中澤 梧郎
千家 隆比古
(株)アイルコーポレーション

【岡山】
三宅 照正
杉本 興一
(株)山下体育社

【広島】
中川 元慧
安部 孝次郎
中川 恵利
橋本 貢

宮本 潤子
光造 久雄
橋爪 松美
清水 猛
岩田 宏之
川崎 成人
古結 茂
中島 正美
柴 教雄
トヨタカゴ-ラ姫路(株)

【奈良】
辻村 泰範
永広 逸子
松下 武雄
宮脇 誠一
甲元 公枝
松浦 幸夫
森田 良輔
松本 安嘉
飯田 泰弘
藪岡 美美
友岡 清一
サンディスト(株)

【和歌山】
巴陵院 浦上隆康
加藤 隆也
石本 省三
安達 実
大岡 正斉
辻 節子
宮本 昌幸
野村 義夫
酒井 孝之
阪井 信也
伊藤 真輝
平井 孝剛
森下 曾我部大朗
寺田 伸也
西田 昌弘
三木理研工業(株)

【徳島】
秋岡 芳郎
荒木 隆治
山根 義孝

【香川】
村上 清宣
橋本 重雄
吉田 往嗣
湖崎 武敬
菅原 良弘
大須賀 誠
今岡 扶彰
岩井 敏恭
坂間 高博
岡 真一
高尾 壽一

【愛媛】
井上 勝
青木 浩

【福岡】
熊本 幸雄
井手 直秀
白濁 琴江

【大分】
戸高 有基
内田 日出男

【宮崎】
豊秀 昌彦
橋田 和実

角山 肇
西濱 清士
山崎 壽之
登世岡 浩治
吉川 泰正
桑原 幸夫
山口 昌一
土本 敏明
横田 光則
BS広島県連盟
スカウトクラブ
BS広島県連盟

【山口】
池田 信幸
徳久 誠
磯部 勝由
坂井 真理子
武居 良裕
森重 笑子

【徳島】
秋岡 芳郎
荒木 隆治
山根 義孝

【香川】
村上 清宣
橋本 重雄
吉田 往嗣
湖崎 武敬
菅原 良弘
大須賀 誠
今岡 扶彰
岩井 敏恭
坂間 高博
岡 真一
高尾 壽一

【愛媛】
井上 勝
青木 浩

【福岡】
熊本 幸雄
井手 直秀
白濁 琴江

【大分】
戸高 有基
内田 日出男

【宮崎】
豊秀 昌彦
橋田 和実

井手 明子
小田 幸三
三河尻 和夫
結城 利章
末松 龍一
高瀬 勲
塩川 浩史
小田 房江
坂本 宣由
武井 靖行
小沢 大蔵
竹下 もりと
松尾 博史
大神 和恵
上田 眞樹
小林 秀彰
B S 福岡 3 3
B S 北九州 1
B S 北九州 4 5
B S 福岡 1 9
角田書道教室
(株)タカラ薬局
(株)ユキ産業
(株)タマキ設計

【山口】
池田 信幸
徳久 誠
磯部 勝由
坂井 真理子
武居 良裕
森重 笑子

【徳島】
秋岡 芳郎
荒木 隆治
山根 義孝

【香川】
村上 清宣
橋本 重雄
吉田 往嗣
湖崎 武敬
菅原 良弘
大須賀 誠
今岡 扶彰
岩井 敏恭
坂間 高博
岡 真一
高尾 壽一

【愛媛】
井上 勝
青木 浩

【福岡】
熊本 幸雄
井手 直秀
白濁 琴江

【大分】
戸高 有基
内田 日出男

【宮崎】
豊秀 昌彦
橋田 和実

武末 雄二
小倉 和彦
黒川 和子
(株)平下産業
【鹿児島】
藤岡 義道
川畑 善照
田中 俊實
伊東 清寛
亀澤 務
【沖縄】
湧川 昌秀
仲嶺 眞情
稲嶺 恵一
古賀 政美

【山口】
池田 信幸
徳久 誠
磯部 勝由
坂井 真理子
武居 良裕
森重 笑子

【徳島】
秋岡 芳郎
荒木 隆治
山根 義孝

【香川】
村上 清宣
橋本 重雄
吉田 往嗣
湖崎 武敬
菅原 良弘
大須賀 誠
今岡 扶彰
岩井 敏恭
坂間 高博
岡 真一
高尾 壽一

【愛媛】
井上 勝
青木 浩

【福岡】
熊本 幸雄
井手 直秀
白濁 琴江

【大分】
戸高 有基
内田 日出男

【宮崎】
豊秀 昌彦
橋田 和実

【島根】
小林 祥泰
【山口】
岡寺 信政
【福岡】
武井 靖行
荒木 秀樹
【佐賀】
馬場 久和
【大分】
戸高 有基
【日本】
和田 勝久
友幸 宇宙
宇都 康平
大浦 秀樹

マンスリーサポート
維持会員



11~12月に入会または1年継続された方々です。
毎月1,000円から、クレジットカードでの自動引き落としによる維持会費のお支払いが可能です。

<https://www.scout.or.jp/support/>

【宮城】
松岡 大介
日下 清
中橋 邦

【埼玉】
岡田 良一
脇田 大輔
時計 一利
中村 考一
本間 日出夫

【千葉】
新井 康弘
鈴木 町枝

【神奈川】
齊藤 彰
遠藤 直樹

【山梨】
藤森 静男
【東京】
小林 司

深見 泰子
草野 恵二

【富山】
畠山 遵
【愛知】
柴山 力
河村 武人

【滋賀】
堀池 雄司
【京都】
谷口 平八朗
【奈良】
村田 禎章
西村 泰紀
八頭司 昭久

【和歌山】
荻野 昭裕
【大分】
中井 宏

【島根】
小林 祥泰
【山口】
岡寺 信政
【福岡】
武井 靖行
荒木 秀樹
【佐賀】
馬場 久和
【大分】
戸高 有基
【日本】
和田 勝久
友幸 宇宙
宇都 康平
大浦 秀樹

今後ご支援いただいた皆様のご芳名については日本連盟 Web ページ等でご紹介させていただきます。

ボーイスカウト×ユニクロ 難民支援 衣料回収プロジェクト

日本連盟がユニクロと協働で進めてきました衣料回収プロジェクト。2016年開始以来、累計で10万着以上を回収してきました。



このプロジェクトではスカウトには難民について「知る」機会を提供し、できることから「行動」してもらい、住んでいる地域に「広げて」います。2023年秋のキャンペーンでは、83個団から報告があり、その合計では18,278枚を回収、参加したメンバーは1,595人に及びました。ご協力いただきました多くの皆様に改めて感謝申し上げます。

「春のキャンペーン」期間中！ **3月1日～5月31日**

お申し込みは以下の日本連盟 Web ページからお願いいたします。
(店舗へのお持ち込みは4月以降)

https://www.scout.or.jp/member/support_for_refugees

助成募集中

ともに進もう (ひとり親家庭等応援) 助成プログラム

クラウドファンディングへのご協力ありがとうございました!!



ともに進もう
助成プログラム
(ひとり親家庭等応援)

ひとり親のご家庭など、経済的な理由によりスカウト活動への子どもの参加が厳しい日本国内のご家庭に対し、「ともに進もう助成」を実施して体験活動への参加を支援しています。2015年からの支援累計総数は1,000人以上に及んでいます。

助成プログラムへの応募

| | |
|------|--------------------------------------|
| 支援金額 | スカウト一人あたり年間3万円を助成 |
| 助成対象 | 日本連盟に加盟登録している、または新規に加盟登録する BVS、CS、BS |
| 応募方法 | 日本連盟 Web ページをご覧ください。 |

<https://www.scout.or.jp/member/group-operation/subsidy-program>

2024
No.761
5

SCOUTING **次号予告** 次号の『スカウティング』は、令和6年5月1日発行

始動！日本連盟の新体制！

5月号では、新年度の体制や各委員会の方針などを紹介します。
紙での定期刊行は最後となります。

なんでも投稿先

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟事務局『スカウティング』担当

〒167-0022 東京都杉並区下井草4-4-3 電話 03-6913-6262 (代表) Eメール scouting@scout.or.jp

投稿規定 / 本誌では読者の皆様からの投稿を常時受け付けています。投稿が掲載された方には、掲載誌と記念品をお送りしています。投稿は、文字数400字で写真3枚を目安にしてください。新聞掲載記事は、新聞名、掲載日を明記してください。なお、お送りいただいた写真や新聞記事は原則として返却しませんのでご了承ください。お送りいただいた投稿は、抜粋しての使用や一部を編集させていただく場合があります。また掲載できない場合もあります。あらかじめご了承ください。たくさんの投稿をお待ちしております。

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 『スカウティング』2024年3月号 No.760 令和6年3月1日発行

発行 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 〒167-0022 東京都杉並区下井草4-4-3

『スカウティング』は、全国のボーイスカウト指導者(隊指導者、団委員、スカウトクラブ構成員、地区・県連盟・日本連盟役員)に1冊お送りしています。加盟登録住所にお送りしますので、住所の誤り、変更がある場合は団での登録住所変更の手続きをお願いします。住所変更の手続きがなされない場合、機関誌が発送できませんのでお早めの手続きをお願いします。登録システムに伴い、①4月～8月に新規、追加登録申請が承認された場合: 4月以降に発行されたバックナンバーを次回発行される当該月号を同封にて送付 ②9月～翌年3月に登録申請が承認された場合: 10月以降に発行されたバックナンバーを次回発行される当該月号を同封にて送付。9月以降の「追加登録」で、4月以降に発行されたバックナンバーをご希望の場合は、日本連盟事務局『スカウティング』担当にご相談ください。在庫がある場合はお送りいたします。発行月の前月10日以降は、送付作業工程に合わないため、当該月号は次号に同封されます。なお本誌の購読料は、登録料に含まれています。上記以外の方も別途購読いただくことが可能です。詳しくは日本連盟 Web サイト <https://www.scout.or.jp> から、スカウティング誌のページをご覧ください。

©公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 2024 / 写真、イラスト、記事のコピー・複製・転載を希望される場合は、日本連盟事務局広報担当(代表 TEL: 03-6913-6262)までご連絡ください。

日本連盟ホームページ <https://www.scout.or.jp>

SCOUTING

デジタル配信しています!



機関誌『スカウティング』のデジタル版(PDF)を、読者の皆さんを対象に配信しています。デジタル版は、文字をコピーできますので、さまざまな資料に、簡単に引用できます。また、タブレット端末などに入れ、いつでも読むことができます。ぜひ活用ください。

SCOUTING 2024/3 760

スカウトイング
昭和33年12月15日 第3種郵便物認可
令和6年3月1日発行（寄附月1日発行）

発行 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟
〒167-0022 東京都杉並区下井草4-4-3
電話 03 (6913) 6262 (代)

定価 ¥200 (税込)
郵便振替 00130-1-66119
口座名義 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟

4 931187 663251



令和6年
能登半島地震
募金お願い致します

2024年1月1日に石川県能登半島で発生した「令和6年 能登半島地震」により、多くの方が被災されました。能登半島（珠洲市）では、アグーナリー、そして2度のジャンボリーを開催し、多くのスカウトが参加し、素晴らしい体験をすることができました。
今、私たちは、被災地のためにできることをそれぞれに実践していきましょう。

令和6年能登半島地震への支援について

<https://www.scout.or.jp/member/r6notohantou-jishin-support>



2003



2006



2018

